

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	地域産業・観光活性化プロジェクト	実施期間	H23～	テーマ	産業・環境活性化プロジェクト (町重点施策)	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>経済情勢の低迷や不安定さから、宇治田原町内における各種産業においても、低迷が続いており、地域経済活性化に寄与できる施策の実施が望まれている。</p> <p>またインターネット等が普及し、様々な情報が簡単に入手できる現在において、宇治田原町が有する特色を幅広くPRし、本町の観光活性化又はお茶等の生産販売につなげていく必要がある。主要な地域産業が農林業である本町は、日本緑茶発祥の地という歴史や、宇治茶を支える一大産地としての伝統を有しており、今後、未来へ向けて、更に宇治茶ブランド力を高め、地域間競争力を高める一方、企業誘致等により新たな地域産業を育成し、町内において雇用（働き場所）を確保していく必要がある。</p> <p>住民が町内において働き・子どもを育て・地域活動を行うことが地域の協働力を高めることにもつながる。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>宇治田原町が有する「日本緑茶発祥の地」という歴史や観光資源を町内外に幅広くPRし、来町者の増加による地域経済活性化のためのきっかけづくりを行うとともに、既存町内産業においては、事業主に対し、助成金を交付することで地元（新規）雇用の増加のきっかけづくりを推進する。これまでの地域産業の活性化と企業誘致等により新たな地域産業を育成し、町内において雇用（働き場所）を確保する。</p>						
	総事業費（千円）	29,857	本年度事業費（千円）	29,857	交付金額（千円）	13,516	
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
	日本緑茶発祥のまち魅力発信事業	交付事業	宇治田原茶を広くPRし、良質茶生産の振興と発展を図る。 ・修学旅行生茶摘み体験、お茶のまち転入者プレゼント、集団茶園啓発看板を設置する。		<ul style="list-style-type: none"> ◆転入者記念品プレゼント事業 記念品プレゼント数：57件(急須か茶の苗木) (全部世帯転入数：116世帯) ◆集団茶園看板設置 		
	茶品評会事業	交付事業	宇治田原町で生産されたお茶のブランド力を高めるため、各種品評会への出展を町内茶業関係者に啓発する。		宇治田原町で生産されたお茶のブランド力を高めるため、各種品評会への出展を町内茶業関係者に啓発した。		
	宇治田原いいところ発信事業	交付事業	宇治田原町内名所を巡るスタンプラリーを開催し、観光交流の活性化を図る。		宇治田原町内名所を巡るスタンプラリーを開催し、観光交流の活性化を図った。 ・応募者及び当選者 応募者484名 抽選者200名 ・プレゼント内容 お茶と古老柿		
	町内産材活用推進事業	交付事業	お茶と並ぶ本町の伝統産業である木材を活用し、中学校生徒機の天板を作成し、木のぬくもりのある学習環境整備を図るとともに、林業の振興のため地場産材の使用を推進する。		木の温もりのある学習環境整備の一環として、町内産材（ヒノキ間伐材）を活用し、中学生用機の天板への加工を実施した。 ◆平成23年度 107枚作成（H24年度新入生分） ◆平成16年度より事業開始		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

市町村 実施事業	茶史等編纂事業	交付事業	<p>日本緑茶発祥の地として、町内に有する「茶」の歴史等に関する資料の調査・収集を行い、町独自の茶史資料を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内茶業関係者宅より、横浜・神戸開港期（1821年）における山城茶の輸出と国内販売に関する資料を発見。 ・近代茶業史の実証水準が今後、飛躍的に高まることが期待される。 	<p>宇治田原町独自の茶史編纂に向けて、関係文書等の資料収集や解説作業等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者 奈良女子大学講師 島津良子氏 ・調査日数 50日 延調査員数330人 ・事業期間 H20～H25 <p>茶業関係者などが所有・保存しているお茶等に関わる資料内容調査を行うとともに、製茶道具等のカタログ作成、古文書の目録作成・解説作業を進めた。</p>
	歴史街道「家康 伊賀越えの道」保全事業	交付事業	<p>江戸幕府の開祖 徳川家康が「本能寺の変」の際に通過したとされている「家康 伊賀越えの道」を町内外にPRし、観光資源の活性化を図るとともに、歴史的資産の保全に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町生涯学習事業や関係団体と連携し、現地ハイキングや歴史教室等を開催 ・現地において、啓発看板を設置 	<p>徳川家康伊賀越えの道のルートと伝えられている奥山田地区の松峠を中心とした沿線の景観保全整備に向けた取り組みとして、啓発看板と案内標識を設置した。</p> <p>案内板（1520×2100・支柱含む） 設置場所 奥山田小字上大福</p> <p>案内標識（300×3000・支柱含む） 設置場所 湯屋谷小字長通</p>
	雇用促進助成事業	交付事業	<p>町内在住者を新規に雇用した事業者へ雇用促進助成金を交付することで、町内での雇用促進を図る。</p>	<p>◆雇用促進助成金 町内在住者を町内の事業場で従事させるために雇用保険の被保険者として1年間継続的に雇用した事業者へ新規雇用者1人あたり10万円を交付。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付実績：1,200千円 ・新規雇用者：12人 ・交付事業者：9社
	町内雇用促進事業	交付事業	<p>町内企業による地元雇用を促進するため、町内新規常用雇用の際し、事業主へ助成金を交付し、地元在住者の積極的雇用を推進し、町内在住者の町内での働き場所の確保に努める。</p>	<p>◆住民の雇用安定確保及び雇用機会の拡大を図るため、町内在住者等を正規職員として雇用した事業主に対し対象雇用者1人あたり20万円を助成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付実績：1,400千円 ・新規雇用者：7人 ・交付事業者：7社 <p>◆町内で就職を希望する求職者に対し、町内に事業場を有する企業による合同説明会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業数：5社 ・参加求職者：25人

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

	企業誘致促進事業費	交付事業	企業進出に向けた誘致活動を積極的に実施する。	地域の活性化及び地域内雇用の拡大を促すため、新市街地への新たな企業進出に向けた誘致活動を積極的に展開し、地域経済の活性化を図った。
	企業立地促進助成金	交付事業	地域経済の活性化と就業機会の拡大を目的に、新市街地及び工業団地、緑苑坂テクノパーク等立地した企業に対し助成金を交付することにより、企業立地の促進を図る。 ・事業場設置助成金 前年度に納付した固定資産税の内、4/5相当額を助成金として交付 ・操業に伴い、町内在住者を新規に雇用した場合に助成金を交付	<ul style="list-style-type: none"> ・助成事業者：2社 ・事業場設置助成金：11,035千円 ・雇用創出助成金：900千円
	新市街地整備計画推進事業	交付事業	砂利採取跡地を新市街地区域として整備を行い、民間事業者による大規模工場用地の整備を誘導し、企業立地による地域経済の活性化を図る。 ・土地所有者等による協議会の設立。 ・用地販売に向けた取り組み（PR活動）	<ul style="list-style-type: none"> ◆都市計画法、建築基準法に基づく諸制限（用途地域、地区計画、建築物の用途、建て方等）を決定し、法律に基づく諸規制を設けた。 ◆周辺環境との調和や環境負荷の抑制を図るため、新市街地を対象とした環境基準を設けた。 ⇒京都府ものづくり産業等集積促進地域で、公共下水道に対応する環境保全協定の見直し ◆早期の販売の実現を図るため、町が積極的に関与し、企業立地に係る優遇策の企画立案や用地販売を促進する。 ⇒立地促進のためのPR用パンフレットを製作し、京都府、振興局、関係者へ配布。
住民協働事業	お茶PR事業	関連事業	住民が組織している団体「21お茶のふるさと塾」と連携し、主要産業であるお茶に関連し、町内外者の受け入れを始め、茶摘み体験や伝統文化である茶香服体験をおとしたPR事業を実施するとともに、地域において活動する住民団体との協働・連携の強化を図る。	住民が組織している団体「21お茶のふるさと塾」と連携し、主要産業であるお茶に関連し、町内外者の受け入れを始め、茶摘み体験や伝統文化である茶香服体験をおとしたPR事業を実施するとともに、地域において活動する住民団体との協働・連携の強化を図った。
	出品茶対策協議会助成金	交付事業	宇治茶ブランドの確立・向上のため、全国・関西・京都府茶品評会への出品に対する取組みを行う協議会に対し支援を実施。	宇治茶ブランドの確立・向上のため、全国・関西・京都府茶品評会への出品に対する取組みを行う協議会に対し支援
住民が取り組む事業	高級茶生産振興事業	交付事業	宇治茶の品質向上及び増産によりブランド力を高めるため、公品質な玉露・てん茶生産には被覆棚は不可欠であることから、被覆棚施設整備に対する支援を実施。	<p>高品質な玉露・てん茶生産には被覆棚は不可欠であり、高級茶である宇治茶の更なる品質向上及び増産のため、被覆棚施設整備に対して支援を行い、お茶どころ宇治田原町として、更なる宇治茶生産振興を図った。</p> <p>平成23年度 事業実施主体：JA京都やましろ宇治田原町茶業部会 受益戸数：10戸</p>

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

	町単費土地改良事業補助金	交付事業	農業の生産性を高めるため、土地改良事業に対し、補助金を交付し、生産性向上の取組を支援。 ・対象：農業用施設等（用水路整備、農道整備、農業用ポンプ等） ・補助額：事業費100千円以上を対象に4割（限度額50万円）	農業の生産性を高めるため、土地改良事業に対し、補助金を交付し、生産性向上の取組を支援した。	
成果指標①	成果指標の目標数値	町内雇用者数の増 ◆平成22年度雇用促進助成事業：新規雇用者 20名 交付事業社 8社 ◆町内企業合同就職説明会：正社員3名アルバイト1名 参加企業数 5社 参加求職者 33名		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	◆平成23年度雇用促進助成事業：新規雇用者 12名 交付事業社 9社 ◆町内雇用促進事業 ・助成金…正社員 7名 ・合同説明会…参加企業数 5社 参加求職者 25名 (平成24年3月31日時点)
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	22年度はアルバイトを含め24名の採用があったが、23年度は19名と5名減となった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	各種茶品評会での入選作品の増 H22 計7点入選（府：1点、関西：5点、全国1点）		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	計10点入選（府：4点、関西：5点、全国1点） (平成24年3月31日時点)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	22年度より3点多く入選し、好成績をおさめることができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	宇治田原町の魅力の発信や茶産業の推進による宇治田原町のブランド力の向上及び雇用を伸ばす活動が、産業の活性化や推進につながっている。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
	関連事業との連携効果				
	府と市町村等との連携に資する成果	府山城振興計画では、宇治茶を活かした地域の活性化を図るため、生産拡大方策や観光資源としての活用、宇治茶ファンづくり等を「宇治茶の郷づくり」構想として策定し、推進することとしている。			
	住民の自治意識を高める成果	住民が組織する実行委員会形式により事業展開することにより、お茶を柱としたまちづくりの推進をともに行う。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

本プロジェクトに対する自己評価	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	日本を代表するブランド商品である「宇治茶」は山城地域の大きな財産であると言える。宇治茶の品質の向上及び増産により、宇治田原だけでなく近隣市町村も含めた宇治茶の産地としての市場での評価が上がり、農業、商工業の発展だけでなく、観光産業への効果も期待できる。
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	町内に立地している企業への就業が進むことで住民生活の安定に寄与するとともに、生活と働く場が近接することにより、地域の事業への参加率の向上も図れる。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。